



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 學 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	61,479	6.3	6,085	7.7	7,207	24.1	5,387	17.2
29年3月期第3四半期	57,837	6.4	5,648	59.4	5,808	33.1	4,596	43.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 7,466百万円 (△3.7%) 29年3月期第3四半期 7,754百万円 (89.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	252.69	-
29年3月期第3四半期	215.57	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	120,475	90,934	75.5	4,265.07
29年3月期	115,160	85,280	74.1	3,999.89

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 90,934百万円 29年3月期 85,280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
30年3月期	-	45.00	-	-	-
30年3月期（予想）	-	-	-	45.00	90.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	0.9	7,100	0.9	7,500	5.5	5,700	0.7	267.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	22,731,160株	29年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,410,536株	29年3月期	1,410,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	21,320,644株	29年3月期3Q	21,320,734株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は平成30年2月13日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では雇用環境が改善する等、景気は緩やかに回復しました。米国では、個人消費や設備投資が堅調に推移し、また雇用環境も引き続き改善していることから、景気は回復が続いております。日本では、雇用環境の改善を背景に個人消費は持ち直し、また企業の設備投資の増加もあり、景気は緩やかながらも回復基調をたどりました。

当社グループは、映像技術を核として顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」への展開を進めております。また、商品開発及び企業体質の強化を行うことで、第五次中期経営計画で掲げている各市場別の重点施策を進めております。ヘルスケア市場では、2016年7月にパナソニックヘルスケア(株)より買収した手術室及び内視鏡用モニター事業において、同社と当社が培ってきた技術を融合することにより開発した、3D及び高輝度2DモデルのEIZOブランドモニターをリリースしております。クリエイティブワーク市場では、液晶モニターとしては世界初(※)となる100万:1のコントラスト比を実現したモニターを12月にリリースする等、映像制作市場への取り組みを強化しております。

※製品としての液晶モニターにおいて。2017年4月時点、当社調べ。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、61,479百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

市場別の売上高は次のとおりです。

市場	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
B&P (Business & Plus)	11,696	20.2	12,780	20.8	+1,083
ヘルスケア	18,494	32.0	22,246	36.2	+3,751
クリエイティブワーク	4,082	7.1	4,320	7.0	+238
V&S (Vertical & Specific)	5,081	8.7	5,999	9.8	+917
アミューズメント	15,718	27.2	11,618	18.9	△4,099
その他	2,764	4.8	4,513	7.3	+1,748
合計	57,837	100.0	61,479	100.0	+3,642

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## [B&amp;P (Business &amp; Plus) ]

売上高は、12,780百万円(前年同期比9.3%増)となりました。海外においては、フレームレスモニターの販売が欧州において好調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

## [ヘルスケア]

売上高は、22,246百万円(前年同期比20.3%増)となりました。海外においては、欧州及び北米で診断用途向けモニターを中心に堅調に推移しました。また、手術室及び内視鏡用モニターの販売においても好調に推移しました。国内においては、インテグレーション事業の販売が引き続き好調に推移したことや診断用途向けモニターの販売が伸びたこと等により前年同期を上回る売上高となりました。

## [クリエイティブワーク]

売上高は、4,320百万円(前年同期比5.9%増)となりました。海外においては、北米にて映像制作分野での販売が好調に推移しており、売上高は増加しました。

## [V&amp;S (Vertical &amp; Specific) ]

売上高は、5,999百万円(前年同期比18.1%増)となりました。国内においては、監視(Security & Surveillance)市場向け及び金融システム向けモニターの販売が伸びたことで、売上高が増加しました。

## [アミューズメント]

売上高は、11,618百万円（前年同期比26.1%減）となりました。アミューズメント市場を巡る環境は厳しい状況が続いており、前年同期を下回る売上高となりました。

## [その他]

売上高は、4,513百万円（前年同期比63.3%増）となりました。主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによります。

売上総利益は、B&Pやヘルスケア市場向け等での増収や対ユーロでの円安効果及び原価低減による増益効果があったことで、784百万円増加しました。売上高総利益率は、上記の増益効果があったものの、利益率の低いアミューズメント用ソフトウェア受託開発売上高構成比が増加したこと等により、前年同期比で0.6ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、内視鏡、MIL規格関連投資等の先行投資を行ったことで347百万円増加しました。

以上の結果、営業利益は6,085百万円（前年同期比7.7%増）となりました。為替差益の計上等により、経常利益は7,207百万円（同24.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,387百万円（同17.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は5,315百万円増加し120,475百万円、負債の部は337百万円減少し29,541百万円、純資産の部は、5,653百万円増加し90,934百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,294	7,913
受取手形及び売掛金	16,973	16,028
有価証券	18,809	18,614
商品及び製品	10,284	11,482
仕掛品	4,501	3,280
原材料及び貯蔵品	9,629	12,685
その他	2,981	2,712
貸倒引当金	△138	△133
流動資産合計	69,334	72,583
固定資産		
有形固定資産	11,771	12,295
無形固定資産	1,747	1,080
投資その他の資産		
投資有価証券	31,558	33,777
その他	748	738
投資その他の資産合計	32,306	34,515
固定資産合計	45,826	47,892
資産合計	115,160	120,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,694	8,185
短期借入金	1,796	2,024
未払法人税等	1,051	1,005
賞与引当金	1,397	837
ソフトウェア受注損失引当金	4	—
製品保証引当金	1,813	1,957
その他	5,506	4,269
流動負債合計	19,264	18,280
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	898	830
退職給付に係る負債	3,069	3,190
その他	6,545	7,138
固定負債合計	10,614	11,261
負債合計	29,879	29,541

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	62,953	66,529
自己株式	△2,661	△2,662
株主資本合計	69,031	72,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,038	18,319
為替換算調整勘定	△504	213
退職給付に係る調整累計額	△284	△205
その他の包括利益累計額合計	16,248	18,327
純資産合計	85,280	90,934
負債純資産合計	115,160	120,475

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日)
売上高	57,837	61,479
売上原価	39,419	42,276
売上総利益	18,418	19,202
販売費及び一般管理費	12,770	13,117
営業利益	5,648	6,085
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	484	534
有価証券売却益	11	—
為替差益	—	425
その他	48	195
営業外収益合計	550	1,160
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	51	34
為替差損	328	—
その他	10	2
営業外費用合計	390	38
経常利益	5,808	7,207
税金等調整前四半期純利益	5,808	7,207
法人税、住民税及び事業税	896	1,827
法人税等調整額	315	△7
法人税等合計	1,212	1,819
四半期純利益	4,596	5,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,596	5,387

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	4,596	5,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,198	1,280
為替換算調整勘定	△137	718
退職給付に係る調整額	97	79
その他の包括利益合計	3,158	2,078
四半期包括利益	7,754	7,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,754	7,466
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## 3. 補足情報

(売上区分の表示についての変更)

第1四半期連結累計期間より従来の品目別の売上から市場別の売上に区分を変更しており、以下の区分にて集計しております。

区分	主要用途
B&P (Business & Plus) ビジネス用途向け及びゲーム等のエンターテインメント市場向け	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス、ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア 医療環境向け	医用画像、診断用途、手術室用途
クリエイティブワーク グラフィック用途向け	出版・印刷・写真編集、映像制作
V&S (Vertical & Specific) 様々な環境下での使用が求められる多様な業種・分野向け	航空管制(Air Traffic Control:ATC)、船舶、監視(Security & Surveillance)、その他産業用途
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発